

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会記録

1 会議の日時	<p style="text-align: center;">開 会 午前 9 時 57 分 令和 6年 5月10日 閉 会 午前 10 時 47 分</p>	
2 会議の場所	<p style="text-align: center;">第6委員会室</p>	
3 出席者	委 員	<p>委員長 猫 田 孝 副委員長 小 原 尚 委員 森 正 弘 野 村 美 穂 澄 川 寿 之 森 治 久 藤 本 恵 司 平 野 恭 子 森 益 基 黒 田 芳 弘</p>
	執 行 部	<p style="text-align: center;">別 紙 配 席 図 の と お り</p>
4 事務局職員	<p>主査 横田 直道 主事 水谷 玲葉</p>	

5 会議に付した案件		
件	名	審 査 の 結 果
1	令和6年度重点調査項目等について	原案どおり決定
2	令和6年度所管事務事業の説明聴取について	
3	令和6年度委員会活動について	正副委員長に一任
4	その他	

6 議事録(要点筆記)

○猫田孝委員長

ただいまから、県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会を開会する。

最初に、当委員会の運営についてであるが、委員会が所管する特定分野の中から、テーマを絞り込んだうえで、正副委員長の主導のもと、調査検討し、2年間を目途に委員会として一定の提言を行うことを目指す。委員の皆様には、積極的な審議をお願いする。

まず初めに、当委員会の「本年度の重点調査項目」についてであるが、5月8日に開催された正副委員長会議において、配付資料のとおり「県土強靱化・インフラ整備対策の推進に関すること」と決定されたので承知されたい。

具体的な調査項目については、配付資料のとおり、「1 県土強靱化に向けた防災・減災対策の推進」、「2 生活・産業を支えるインフラの整備について」の2項目を、調査していきたいと思うがどうか。
(「意見なし」)

○猫田孝委員長

意見もないようなので、案のとおり調査していくことに決定した。

それでは、調査項目に係る所管事務事業について、執行部より説明願う。また、執行部の紹介も併せてお願いする。

(執行部 挨拶・紹介)

(執行部 説明)

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質疑はあるか。

○澄川寿之委員

緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の進捗見込みは。

○堀建築指導課長

それぞれの建築物の規模が大きく、耐震改修に要する費用が大きくなることから、なかなか耐震化が進んでいない。能登半島地震を受け、今年度は緊急輸送道路沿道の建物所有者に対してより一層啓発を行い、耐震化を推進していく。

○澄川寿之委員

昨年度の空家対策支援補助金の予算活用状況はどうか。

○田原住宅活用推進監兼空家対策推進室長

昨年度は、空家の利活用で110件、除却で217件の執行を行った。当初予算の8,000万円に対し、約5,900百万円を執行し、執行率は約73%であった。

○澄川寿之委員

今年度は空家対策支援補助金を増額したとのことであったが、執行率を上げるためにどう取り組んでいくのか。また、市町村からの要望に対する補助金の交付状況はどうか。

○田原住宅活用推進監兼空家対策推進室長

今年度は、能登半島地震を踏まえ、市町村に対し、危険な空家の再確認や空家所有者へのさらなる働きかけをお願いしているところ。県としても、引き続き、市町村と連携して取り組んでいく。また、昨年度は市町村からの要望額どおり補助金を交付した。

○澄川寿之委員

昨年、広域防災センターを見学し、地震体験装置なども含めて大変有用な施設と認識している。一方、本センターの2階へ上がるには階段しかなく、車椅子の方は困るのではないか。施設のバリアフリー化についてどのように考えているか。

○永井防災課長

バリアフリーの観点では、多目的トイレの改修工事などを進めているが、車椅子の方がそのまま2階へ上がる工事までは計画していない。今後、利用者の方の意見や要望もお聞きしていきたい。

○澄川寿之委員

建物を建設してから相当の年数が経過している一方で、消防操法大会などの場で多くの県民が訪れる施設にもなっている。今後、長寿命化計画の中で位置づけることも含め、バリアフリー化について検討いただきたい。

○野村美穂委員

県では、SNSによるタイムリーな防災情報の発信を行っているが、そもそも多くの受け手が必要。現在、県公式防災アカウントのLINEの登録者は16,092人、Xのフォロワーは3,154人となっているが、情報の受け手（登録者）を今後どのように増やしていくのか。

○永井防災課長

LINE、X、フェイスブックなど様々な手段で情報発信しており、とりわけLINEについては、防災アカウントだけでなく、県の総合アカウントでも防災情報を配信できるようにしたところ。防災キャラバンや防災教育フェア、防災・減災センターの各種行事の場に加えて、防災啓発番組、新聞広告なども活用しながら、情報の受け手（登録者）を増やしていく。

○野村美穂委員

県有施設におけるユニバーサルデザイン化の推進に関連して、多様な色覚に配慮して情報になるべく全ての人に正確に伝わるようにする「ユニバーサルカラー」の視点が必要ではないか。特に色で危険等を示そうとする場合、色の見え方が違う方にとってはかえって分かりづらいこともあると思うが、どのように考えているか。

○小川管財課長

ユニバーサルカラーの視点は大切だと考える。現行の長寿命化計画には明記されていないことから、委員のご指摘を踏まえ、本年度新たに策定する中での反映を検討していきたい。

○澄川寿之委員

大規模災害時にエレベーターの中に長時間閉じ込められた場合に備え、普段は椅子として活用でき、災害時の非常用トイレや非常用飲料水などの収納ケースとして活用できる設備がある。県民の方から、県庁のエレベーターにはそういった設備はないのかという問い合わせをいただいたが、県の対応はいかがか。

○小川管財課長

ご指摘の内容を確認させていただき、整備されていないということであれば、検討させていただく。

○野村美穂委員

最近、JR水戸駅で衣服がエスカレーターに巻き込まれて利用者が窒息死する事故があった。例えば非常ボタンの場所を分かりやすくするなど、エスカレーターの安全対策について確認をお願いしたい。

○小川管財課長

現状を確認し、対策が必要であれば検討させていただく。なお、県庁のエスカレーターは低速での運転であり、定期的に点検も行っている。また、低層階のみの設置であり、近くの総合受付には委託職員が常駐している状態ではあるが、安全第一で運用させていただく。

○猫田孝委員長

令和10年度以降、多くの建物が築65年を迎えると資料に記載があるが、建替時期を迎える県有施設の一覧表を作成し、次の委員会で配付してほしい。

○猫田孝委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって所管事務事業の説明聴取を終わる。

今年度の調査項目については、説明のあった2項目を取り上げ、調査・検討を行いたいと考えるが意見はあるか。

(「意見なし」)

○猫田孝委員長

意見もないようなので、さよう進める。

次に、「本年度の委員会活動について」であるが、特別委員会の視察については、配付した「委員会視察要領」「委員会視察に関する申し合わせ事項」のとおりである。

視察先等については、必要性を十分に勘案し、委員をはじめ、関係者と調整の上、決定していきたいと思う。詳細については、正副委員長に一任願いたい、これに異議はないか。

(「意見なし」)

○猫田孝委員長

意見もないようなので、さよう進める。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はあるか。

(「意見なし」)

○猫田孝委員長

意見等がないようなので、本日の委員会を閉会する。

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会 配席図

令和6年5月10日

第6委員会室

